

# 令和7年度 国府小学校 校内研究

## 学校教育目標 豊かな心と学ぶ力をもったたくましい子どもの育成

### 【めざす児童の姿】

(かしこく) 自己を見つめる子

- ▶自分の学びに合った情報を選択・活用し、熟考する。

(なかよく) みがき合う子

- ▶友達との学び合いのなかで、課題の発見や解決をする。
- ▶友達の考えを受け止めながら、自分の考えを広げ、深める。

(たくましく) よりよく生きる子

- ▶学び方に多様性をもち、自分に合った方法で表現(発信)する。

### 【児童の実態】

- 素直で明るい雰囲気をもっている。
- 声掛けされたことに対して聞き入れ、応じることができる。
- △自己肯定感が低い。
- △自分の思いや考えを相手に伝える力や望ましい人間関係を構築する力が脆弱である。
- △主体的に学んだり、活動したりする力が乏しい。
- △読解力が低い。

## 【研究主題】 自己を見つめ みがき合い よりよく生きる子どもの育成

～学校図書館活用教育の充実をとおして～

### 【研究仮説】

各学年の情報を活用するための技能(身につけたい力)を明確にし、全学年で系統的な指導を積み重ねていけば、児童の情報活用能力の育成につながるであろう。

### 【研究内容】

#### (1) 情報活用能力の系統的指導

- 児童が自らの問題の解決に向けて思考力を働かせる活動の手掛かりとなるよう、「思考ツール」の指導を行う。
- 浜田市「学び方指導体系表」をもとに、身に付けたい情報活用能力を把握し、全学年で系統的に指導する。
- 児童の探究学習を支えるために、教科ごとに横断的な視点をもったカリキュラムを組むようにする。

#### (2) 要約学習の継続

- 校内研修をとおして、要約学習のねらいを全職員が理解し、指導に生かす。
- 要約学習を教科、領域へ広げ、活用していく。

#### (3) 言語環境の充実

- 「読み聞かせ」や「味見読書」をとおして、読書への興味・関心を広げる。
- 並行読書を推進する。